**８　茨城**

**平成２９年度　全高長・教育課程研究委員会資料**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **先進的あるいは特色ある教育課程** | **学校名等** | **課程** |
| **「カリキュラム・マネジメント」** | **茨城県立土浦第一高等学校** | **全日制普通科** |

**ア　実施状況について**

**①　教育課程**

（教育課程編成）

　・本校は，創立１２０周年の伝統校である。各学年８クラス，計２４クラスの学校である。

・本校では，平成２６年度から５年間，文科省よりＳＧＨ研究指定を受けており，本年度で４年目となる。

・学校設定教科「国際」を設定し，科目「グローバル・キャリアデザイン」（１年生全員：２単位）と「グローバル・キャリアアドバンス」（２，３年生選択者：各１単位）を課している。

・本校ＳＧＨの目的は「生物資源を活かすビジネスを起業する課題研究で育むグローカル人財」の育成である。

（授業展開）

　・筑波大学，筑波銀行と協定を結び，高・大・産の連携のもとで地域全体の活性化を目指す取組を行っている。

・「国内フィールドワーク（常時）」「海外フィールドワーク（８月）」を行い，地域から世界に発信できる課題研究に取り組んでいる。

・ＧＢＩＣ（Global Business Idea Contest）を行い，起業家精神に基づくアイディアコンテストを実施している。

**②　教員の指導力向上**

（教員研修）

　・主に，ＳＧＨ担当教員を中心に校内啓発に努めている。

　・課題研究による探究的な学び方が，各教科の関連性を高め，教員の意識向上が図られている。

（外部人材の活用）

　・筑波大学教授数名，筑波銀行等企業関係者数名が，適宜指導にあたっている。

**③　校内組織**

　・校務分掌の１つに「ＳＧＨ推進室」を設け，推進を図る担当者がいる。

　・学校の重要な取組として，学年や校務分掌の相互協力を得ている。企業訪問等に関しても，企業が抱えている問題についての質問や調査について，学年全体の協力を得ている。

**④　施設設備**

　・全教室にプロジェクター・スクリーンが整備されている。

・体育館には，大型のプロジェクター・スクリーン（同窓会寄贈）が設置されている。

**⑤　取組の成果の（都道府県）全体への普及・共有方法**

　・本県他校との共同企画（コラボＰＶプロジェクト）によって，対外的な連携を深めている。

　・ＳＧＨ甲子園等に出場し，全国的な普及・共有活動を行っている。

　・ビジネスアイディアを商品化し，地域の産業祭等で出品し，高い評価を得ている。

**⑥　その他**

　・海外フィールドワークでは，「マレーシア・シンガポール」「オーストラリア」の２方面に加え，新たに「アメリカ西海岸」を設定している。世界的に活躍している日本企業の米国支店（研究所）を訪れ，世界を相手にするグローバル・リーダーとしての資質を養う。

**イ　今後の課題**

　・ＳＧＨ研究指定が終了した後，同様の教育内容をどのように展開していくかが最大の課題である。

　・学校設定教科「国際」を中心に，各教科間の有機的な繋がりをさらに深め，探究的な学びの体系を構築していく必要がある。

　・協定を結んでいる筑波大学，筑波銀行とのより効果的な連携活動が必要である。

**茨城県立土浦第一高等学校ホームページ　　http://www.tsuchiura1-h.ibk.ed.jp/**